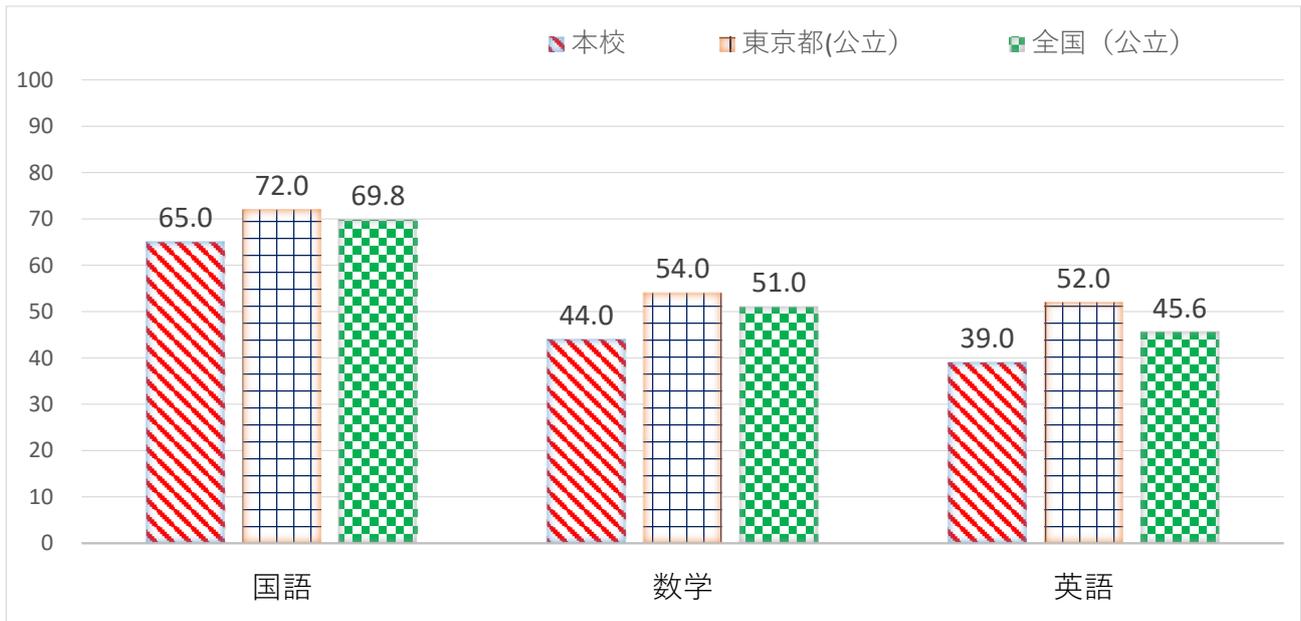


# 令和5年度「全国学力調査」結果と考察(3年)

江戸川区立上一色中学校



国語	分類	全体	評価の観点			問題形式			学習指導要領の内容					
	区分		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	言葉の特徴や使い方	情報の扱い方	我が国の言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
	平均正答率	本校	65.0	61.6	67.9	-	72.3	54.2	63.7	53.6	60.1	67.9	82.5	53.6
	東京都(公立)	72.0	70.1	72.9	-	75.9	65.6	70.8	69.6	66.2	73.1	84.4	66.8	67.2
	全国(公立)	69.8	69.4	69.7	-	73.1	65.6	68.0	67.5	63.4	74.7	82.2	63.2	63.7

【考察をふまえた指導の重点】国語科全体として、東京都および全国の平均を下回っている。都平均と比較すると、全体では7ポイント下回っており、観点で見ると、知識・技能の観点について7.5ポイント下回っていることが読み取れる。また、記述式の問題に関して、正答率が低い傾向がある。よって、今後の指導については、漢字や文法などの知識事項の定着を図るために、課題や補習教室などを活用しながら、反復学習を行っていく。また、授業の中で、自分の考えを書く時間を増やし、様々な形式の記述問題に対応できる力を身につけさせていく。

数学	分類	全体	評価の観点			問題形式			学習指導要領の領域			
	区分		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	数と式	図形	関数	データの活用
	平均正答率	本校	44.0	49.6	34.0	-	38.1	57.3	34.0	55.0	23.8	46.1
	東京都(公立)	54.0	58.7	45.8	-	48.5	65.5	45.8	66.0	39.2	54.3	50.4
	全国(公立)	51.0	55.7	41.6	-	45.3	62.6	41.6	63.0	33.2	51.2	48.5

【考察をふまえた指導の重点】数学科全体として、東京都および全国の平均を下回っている。都平均と比較したときに、全体での差が-10ポイントであることを基にすると、「図形」領域では-15.4ポイントの差があり、特に差が大きいと考えられる。また、観点で見ると「知識・技能」の項目も東京都および全国平均と比較して-6ポイント以上差があることから、1、2年生の学習内容の定着の甘さが数学の学習全体の結果に響いていると考えられる。よって、今後の指導については、ミライシードや単元テストを活用して反復学習を重点的に行い、基礎的な技能の定着を図りたい。

英語	分類	全体	評価の観点			問題形式			学習指導要領の領域				
	区分		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
	平均正答率	本校	39.0	45.6	31.3	-	47.6	24.6	7.7	50.6	44.6	-	-
	東京都(公立)	52.0	57.9	44.8	-	61.0	37.6	17.6	64.7	57.2	-	-	29.6
	全国(公立)	45.6	51.5	38.8	-	54.8	30.1	13.5	58.4	51.2	-	-	23.4

【考察をふまえた指導の重点】英語科全体として、東京都、全国の平均を下回っている。全国平均と比較するとどの分野に関しても正答率が6%ほど下回る結果となった。観点に関しては「知識・技能」の項目も低いことから、2年生の学習内容に関しても文法や単語などが定着していないと考えられる。単語や文法の力が伸びれば「聞くこと」「読むこと」「書くこと」のすべての領域での正答率が上昇すると考える。よって指導では理解できる単語を増やすために単語テストを定期的に行い、文法理解に関しても復習内容を帯活動で取り入れていくことで既習事項の理解を深めさせ、基礎の定着を図りたい。